

大阪府立水産試験場の主な学習活動の概要について

1. 学習活動の種類

夏休み海の教室

毎年7月下旬に、小学4年生～中学3年生（定員百数十名程度）を対象に、2日間実施している。

団体見学

希望する日の2週間前までに申し込めば、随時可能（ただし、他団体との重複や工事中などによって、日時変更の可能性もある）。

職業体験学習

中学校と小学校を受け入れており（学校数に制限あり）、飼育魚への餌やりや標本の整理などを行う。

講師派遣

稚魚放流および栽培漁業の説明、海岸生物の観察会、その他のイベントで講師を派遣している。

昆布を用いた環境改善試験

国土交通省の大阪湾再生事業の一環として、浜寺小学校（堺市）と共同で実施している。

上記の は、大阪府立水産試験場のホームページで詳細に紹介されている。

<http://www.pref.osaka.jp/osakana/>

以下では、主な学習活動として 夏休み海の教室について、さらに紹介する。

2. 「夏休み海の教室」について

(1) 夏休み海の教室の内容

次のような多様な体験・観察等を、適宜組み合わせている（参加費：無料）。

海洋観測体験

プランクトン観察

地曳網調査

干潟生物観察

海洋生物観察

海藻おしば作製

栽培漁業体験 など

毎年5月中旬に、大阪府立水産試験場のホームページで案内を掲示している。

<http://www.pref.osaka.jp/osakana/>

(2) 海洋観測体験

調査船「おおさか」に乗船し、海洋観測を体験する。
観測項目：水色、透明度など



透明度の測定

(3) プラクトン観察



(4) 地曳網調査



(5)干潟生物観察



(6)海藻おしぼり作製



(7)栽培漁業体験

栽培センターの施設を見学し、実際に魚に餌をやってみる。
センターで育てたヒラメ稚魚を放流する。自分の手で飼育水槽からタモですくって放流用のバケツに移し、水産試験場の岸壁から放流する。

